

研修マニュアル（呼吸器外科） ver.1.0

(2023/1/31 作成)

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	7:30～8:00 外科合同症例検討会 <u>西 5F カンファ室</u>	7:30～ 病棟カンファ <u>西 5F 面談室</u>	8:00～ リサカン <u>西 5F カンファ室</u>	7:30～9:00 症例検討会 <u>西 8F カンファ室</u>	7:30～（隔週） 病棟カンファ <u>西 5F 面談室</u>
	8:00～ 抄読会 <u>西 5F 面談室</u>				
	8:30～9:00 病棟回診 病棟業務	8:30～9:00 病棟回診 手術	8:30～9:00 病棟回診 病棟業務 (第 2 週は手術)	9:00～10:00 教授回診 病棟業務	8:30～9:00 病棟回診 手術
	11:00～ 病理切り出し <u>病理部</u>			11:00～ 病理切り出し <u>病理部</u>	
午後	病棟業務 18:00～ 呼吸器センター カンファレンス <u>西 5 階カンファ室</u>	手術	病棟業務 (第 2 週は手術)	病棟業務	手術

研修期間

4 週間以上が望ましい。

将来本科を希望する場合は 3 ヶ月以上が望ましい。

研修内容及び方法・手技

病棟の患者のチーム指導医と共に担当医となり病棟業務に従事する。

外来の新患の診察（予診）を担当する。

他科合同カンファレンスに参加する。

術前プレゼンテーション準備を指導医と共に行う。

症例検討会に参加し、担当患者を症例提示する。

回診には参加する。

到達目標

1 ヶ月目：医療面接、身体診察法、臨床検査解析、術前術後管理、

外科基本的手技

2 ヶ月目：症例プレゼンテーション、evidence 収集と治療法の検討、

病棟での創部管理、縫合結紮等術者

3 ヶ月目：開腹閉腹術者、手術助手、簡単な手術術者

手技(3ヶ月間目安)

呼吸器外科

手術適応の理解	30 例
呼吸器の手術法と解剖の理解	30 例
胸部の開胸と肺の露出と閉胸	30 例
胸腔鏡操作の習得	30 例
胸腔鏡による肺手術のための基本操作	30 例
術後胸腔ドレーンの管理	30 例
術後患者の管理	30 例
胸腔穿刺、胸腔ドレーン挿入	3 例
肺部分切除	2 例

手術

呼吸器外科：定例手術日は、火、水(第2)、金であり、可能な限り手術に参加する。

病棟

研修開始前には呼吸器外科の研修担当医に連絡をとる。担当は症例に応じて決定し、レポート作成に必要な症例や興味のある症例があればその都度申し出る。

病室に入室したら、自己紹介、挨拶をして、病歴聴取、身体診察を行う。各種検査結果も踏まえて入院時診療録の記載をする。

日々の回診は朝・夕の最低2回は行う。

朝は上級医より早く来て回診しておくことが望ましい。

外来

新患の診察（予診）を担当する。主訴、既往歴、現病歴、生活歴を聴取し、その後、診察をする。必要な検査を考慮して上級医に報告する。

症例検討会

受け持ちの症例は、全てプレゼンテーションをする。

月曜日は外科合同で心臓血管外科・呼吸器外科 1 症例ずつのみのプレゼンテーション。

火曜日は心臓血管外科は夕方、呼吸器外科は朝、1 週間分の症例をプレゼンテーション（手術で曜日がずれる可能性あり）。

木曜日は胸部外科で心臓血管外科・呼吸器外科の 1 週間分の症例をプレゼンテーション。

サポート及びトラブル発生時の対応(PHS と不在時間)

わからないこと、困っていることがあったら必ず上級医に相談する。上級医不在で患者の件で急遽対応が必要な際は当番医に連絡する。